

# し ょ う わ



今月の表紙 2024.12.10

蛇王権現



令和7年の干支は『巳』ということで、蛇王権現（松山）が思い浮かびます。お恥ずかしながら、存在を知ったのは近年の事で、そう言われて見てみると、交通の難所である綱木を、そっと見守っているかのようです。今でこそスノーシェッドがいくつもでき、道路も舗装されて通りやすくなりましたが、昔はどれだけ大変だったのだろうかと、先人達の暮らしに思いを馳せます。

写真の石祠は馬追山の入口付近にあるのですが、綱木の石祠もこのような細工（蕪懸魚）があったと考えられ、石工のセンスが光ります。

# 年頭のご挨拶



**昭和村長 舟木 幸一**

明けましておめでとうございます。村民の皆様には明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は本村にとつて大きな飛躍が多くあつた1年であります。国民の農林水産業と食に関する認識を深め、農林水産業者の技術改善及び経営発展意欲の高揚を図るため実施されている農林水産祭におきまして、「JA会津よつば昭和かすみ草部会」が最高賞の天皇杯を受賞いたしました。これは、当村の産地一体となつた新規就農者の確保により「百年

「産地」を目指す取組が評価されたものであり、村としても誉であります。このようないい風もあり、昨年のカスミソウの出荷額は、過去最高の7億1千万円を突破いたしました。村としても、産業振興のため、引き続き、生産者の皆さんやJA会津よつば等を支援してまいります。

長年の念願であります博士トンネルが昨年9月に開通して1年が経過し、村外から多くの方々にお越しいただいておりました。昨年度は、秋の観光シーズンに合わせて、喰丸小を拠点とした体験型ワークショップ「昭和村ガラムシ織の里フェア」において、福島民友新聞社の「第34回みんなの県民大賞

ふるさと創生賞」の表彰式が執り行われました。これには、畑を守り続け、そして、日々の暮らしの中で糸を績み、機を織り続けられてきた関係者の方々の長年にわたる御努力と村外から来られる方々を受け入れていただいた村民の皆様の御協力の賜物であり、改めて感謝を申しあげます。村といたしましても、からむしの新たな魅力を創出しながら、様々な機会を捉えてからむし織を開催しました。引き続

としたイベントを観光協会や奥会津昭和村振興公社など関係団体と連携を図りながら展開し、村内の活性化につなげてまいりたいと考えております。

このほか、令和5年度から整備を進めてきた公共インフラWi-Fiが、昨年から居住地域で運用をスタートいたしました。この公共インフラWi-Fiは、村民のみなさんの生活をより豊かにするのための取組です。スマホ教室の開催など様々な機会を捉えて、皆さんに利便性を実感していただく取組を積極的に進めてまいりま

ふるさと創生賞」の表彰式

は、道の駅開設10周年を記念する「10周年感謝祭」や

本年も、頻発する災害への対応や水稻をはじめとする農業、高齢化が進む村の福祉、小中一貫教育の推進等について着実に取組を進めるとともに、皆さん

が「てえらな心で、ここちよく暮らす」村を目指し、行政・議会・村民が一体となつて、取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

## 昭和村議会議長 渡部 節雄

新年明けましておめでとうございます。議会を代表いたしまして、新年を寿ぎ、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様におかれましては、新しき年を迎えて、今年の目標設定を設けたり、モチベーションを高めたり、意気込まれる方も多くいらっしゃいます。ポジティブに前途を見据えられる方は幸福な人の部類に入るのではないかと思われ、うらやましい限りです。

昨年は、様々な出来事がありました。年明け早々の能登半島大地震、その天災を忘れぬうちに、9月に能登半島は再び、豪雨被害に

見舞われ、理不尽な自然災害の仕打ちに、被災地の人々なくとも暗澹たる思いを抱かされました。

私は、両沼7町村議会議長会の行政調査で、8月に輪島市を訪れ、復旧が遅々として進んでいない状況を目の当たりにしているため、その衝撃は大なるものが、防災認識を、今更ではありますが、強く強く感じる事となりました。

次に、目を世界に向けてみると、ウクライナ戦争は泥沼化し、パレスチナ紛争は混迷を極め、同じ中東地域のシリアでは独裁政府が倒され予断を許さない状況が続いております。人間社会においての変動に入るものではないかと思われ、うらやましい限りです。

きものと考えざるを得ません。

私は、年頭を機に、世の無常ということを強く考えさせられました。世界情勢の変化が、我々の日常生活に否応なしに影響してくれる事実は、直接的な物価の高騰のみならず、様々な経済生活、社会生活に

変化を及ぼしていることがあり、防災意識を、今まで理解できると思われます。自然環境のみならず、人間社会においての変動は、齡を重ねてきた私達高齢者にとって、急激ではなく、ゆつたりとしたものであつてほしいと願うばかりです。

なっております。制度疲労という現象も無視できません。複雑な環境の変化に対応することの出来

解決は容易ではありません。しかもなおざりにできない案件が多く、議会として、村民の意見を村政に反映させるという基本的責務ばかりではなく、村全体の合意形成を図る仕事を果たさねばという思いがあります。

令和7年もまた、色々な出来事が起ころるのは間違いないく、無常感に浸ることが多いと思われます。

それが、変化を乗り越え、ご健勝でご活躍されますことをお祈り申し上げ、私の年頭の挨拶といたします。



## 瑞宝単光章受賞

12月18日村長室にて、菅家敏章さん（小野川）に本田会津地方振興局長より、55年余の永きにわたり消防団員としての功績に対して叙勲（瑞宝単光章）が伝達されました。この度の受賞誠におめでとうございます。



## 書作品を 寄贈いただきました

11月に開催しました昭和村民文化祭並びに会津西部巡回美術展に書作品を出展された小林盛雄さん（野尻）より村の文化振興のため書作品1点の寄贈をいただきました。寄贈いただきました作品は、公民館1階ロビーに展示しておりますので、ぜひ来館された際にご覧ください。



## 正倉院からむし布

令和6年秋に奈良国立博物館の「第76回正倉院展」が開催され、昭和村のからむし布が展示されました。

今回の正倉院展では、奈良時代に日本を治めた聖武天皇のお使いになつたという至宝「紫地鳳形錦御軋（むらさきじおおとりがたにしきのおくしょく）」（錦張りの肘おり）が展示され、この宝物と再現模造品が同時公開されました。

この模造品は宮内庁正倉院事務所によって、X線透過写真やX線CT画像のデジタルデータを基に芯材の素材や構造が検討され、令和6年3月に完成したものです。この製作にあたり、芯材を包む布を探していった正倉院事務所から相談があつたのが令和4年。奥会津昭和村振興公社では、手績み糸の太さなどについ

て何度も意見を交わしこの布の製作に取り組んできました。織り、雪ざらしで試行錯誤をくりかえしたからむし布は、同じように多くの苦労を重ねられた各地区の製作者たちの想いと共に、今回たくさんの方々の目に触れるこになりました。

今回の「正倉院展」目録は、からむし工芸博物館で閲覧できます。



宝物と再現品の展示

※写真は、奈良国立博物館「第76回正倉院展」会場より



材料・技法などの紹介



麻布・マコモなどの展示



鈴木克彦さん

## 新しく人権擁護委員を委嘱

鈴木克彦さん（松山）が1月1日付で、法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持つてもらったりしています。

任期は3年で、小学校との連携や各種イベントなどでの啓発活動、また人権問題の相談業務などを行っています。

鈴木克彦さん（松山）が1月1日付で、法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持つてもらったりしています。

普段目にする山菜や植物には、なぜ毒が含まれているのか、クイズを交えながら講演いただき、多く質問が挙がるなど、賑やかな講演会となりました。

## 昭和学講座特別講演会



11月30日に昭和村公民館で昭和学講座特別講演会を開催しました。

当日は、矢ノ原湿原の保全管理にご協力いただいている福島大学共生システム理工学類黒沢高秀教授に「山菜・毒草の秘密は植物の防衛の仕組み」をテーマに講演いただきました。

普段目にする山菜や植物には、なぜ毒が含まれているのか、クイズを交えながら講演いただき、多く質問が挙がるなど、賑やかな講演会となりました。



11月30日喰丸小にて、村民の方主催による「よいやれ屋」クリスマスマーケットが行われました。

当日は約150名のお客様が訪れ、クリスマスにちなんだ飾り付けや出店者手作りの商品などを手に取り楽しんでおられました。

## クリスマスマーケット

## 自由参観ワーク

11月11日～15日までの間、昭和小・中学校にて、「第2回自由参観ワーク」を実施しました。「自由参観ワーク」は、小・中学校の授業の様子を、広く地域の皆様にご覧いたしました。この連携を推進することを目的として、今年度より実施しているものです。この事業に併せて小学校では「フラガールきずなスクール2024」が開かれたり、中学校では社会科公民の授業で村議会議員から地方自治についてのお話を聞いたりと工夫を凝らした教育活動を見ていただくことができたと思います。

小・中学校合わせて、のべ70名以上の保護者及び地域の皆様に来校してくださいました。ありがとうございました。



## 公民館日誌

### ○千歳学級「健康教室」 11月21日

公民館で千歳学級「健康教室」として、宮下病院の「心ある医療」出前講座を開催しました。講師に押部看護師さんをお迎えして『睡眠』をテーマとして、睡眠の大切な役割、年齢別の適した睡眠時間とメカニズム、不眠の原因などをお話をいただきました。自分の不眠がどのタイプに属するのかを知り、良い睡眠に繋がる1日の過ごし方や入眠しやすい呼吸法などのアドバイスで、睡眠の質をあげるコツを学びました。



また、良い睡眠には欠かせない運動のお勧めとして、横山理学療法士さんに棒体操を教えていただきました。無理のない動きで安全に手軽にできる体操で、普段あまり使わない背中・胸・肩の筋肉がスッキリほぐれました。

### ○少年教室「クリスマス会」 12月7日

すみれ荘で少年教室「クリスマス会」を開催しました。講師におやつやアイリスの栗城沙羅さんをお迎えして、クリスマスのクッキーづくりを教えていただきました。

米粉に天然色素の色粉と米油や豆乳などの材料を混ぜた生地を、クリスマスモチーフの型で抜き、各々自分の好きな色・形のクッキーを作りました。さらさらした米粉で作る生地は型から外す時に崩れやすく大変でしたが、根気よく丁寧にきれいな形に型抜きできました。おいしそうな甘い香りを漂わせながら、クリスマスにぴったりの可愛らしいクッキーが焼き上りました。



### ○生涯学習講座「蕎麦打ち教室」 12月9日

公民館で生涯学習講座「蕎麦打ち教室」を開催しました。講師に蕎麦カフェ SCHOLA の酒井由美さんをお迎えして、練りから茹までの蕎麦打ちの一連の工程を教えていただきました。

つなぎを使わない十割蕎麦は、乾燥しやすく手早く作業しないと生地が固くなるが大変でしたが、講師の指導のもと滑らかなきれいな蕎麦が完成しました。教室の最後には、講師が見本で打った、打ち立て茹で立ての蕎麦を味わい新蕎麦の風味を堪能しました。



## 公民館日誌

### ○千歳学級「スマホ教室」 12月12日

公民館で千歳学級「スマホ教室」を開催しました。講師に株式会社エヌ・エス・シーの五十嵐かおるさんと三星友紀さんをお迎えして、スマートフォンの安全な使い方を中心にお話いただきました。

村内にWi-Fiの環境が整い利用する機会が増えた、インターネットの活用法やLINEの使い方、スマートフォンを狙った悪質な詐欺への対処法など、ためになる情報を知ることができました。また、相談コーナーでは、個々の疑問に対応いただきスッキリ解決できました。



### ○生涯学習講座「刃物研ぎ教室」 12月15日

公民館で生涯学習講座「刃物研ぎ教室」を開催しました。講師に大工八〇の押部僚太さんをお迎えして、刃物研ぎの道具選びから仕上げまでの工程を教えていただきました。

刃物の状態を観察し研ぎ方をイメージしてから、サビなどの汚れを耐水ペーパーで落とし、刃物の角度と力加減に気を付けながら荒砥、中砥、仕上げ砥と順番に研ぎ進め、切れ味抜群の輝く刃物に磨き上げました。自宅でのお手入れに役立つ研ぎ石の整え方や長期保管の際の仕上げ方なども教えていただき、お気に入りの刃物にますます愛着が深まりました。



## すみれ荘日誌

### ○クリスマス会 12月15日

昭和村保育所でクリスマス会が行われました。

クリスマスのお話を聞いたり、クリスマスソングに合わせ、タンブリンや鈴で楽器の演奏会をしたりしました。

どこからか鈴の音とサンタクロースの声が聞こえると、突然ステージ上に大きな袋があらわれ、中にはプレゼントを隠した場所が書かれたカードが入っていました。それを手掛かりにプレゼント探しを行い、無事に見つけることができた子どもたちは大喜びでした。



## すみれ荘日誌

### ○大芦げんきクラブ 11月20日

大芦区長事務所にて大芦地区の高齢者を対象とした大芦げんきクラブが開催されました。

「簡単なストレッチ」で体をほぐしたあと、今回は「苔テラリウムづくり」を行いました。

小さなガラスの器に鮮やかな緑色をした苔を敷き詰め、飾りに木の模型や、犬や猫の人形を入れて可愛く仕上げました。一人ひとり個性がでていて、オリジナルな作品ができ参加者は大満足でした。

大芦げんきクラブは大芦地区の高齢者の方ならだれでも参加者できます。毎月活動していますのでお時間が合えば、ぜひ参加してみてください。



### ○下中津川いってみっ会 12月5日

すみれ荘にて下中津川地区の高齢者を対象とした「いってみっ会」が開催され、地元の草花を使ってフラワーアレンジメントを行いました。

地元産のかすみ草やほおずき、紫式部など色とりどりの草花を「こうしたらきれいかな?」「バランス悪くないかな?」など試行錯誤しながらカゴに飾っていき、コンパクトにかわいらしくまとめたり、大きく華やかに仕上げたりと、その人を表すような個性あふれる作品ができあがりました。楽しく集中して制作していたこともあり、あっという間に時間が過ぎていきました。またやりたいとの声もあり、参加者全員大満足でした。



### ○すこやか教室（昭和小学校） 11月15日

株式会社イースミールの管理栄養士である仲野谷さんに「元気な体を作る食べ方」成長に合った食事について、お話いただきました。

食べ物が消化されて栄養になるまでの流れや、年齢や性別ごとの必要なエネルギー量（カロリー）など、少し難しい内容もありましたが、食べ物のカロリーが多い順に並べるクイズや、バナナ1本を消費するのに必要な運動量はジョギング何分か等、途中にクイズなどを取り入れながら、楽しくわかりやすく体を元気にする食事について考えることができました。また、食べるときの姿勢や良く噛んで食べることなど、野菜から食べ始めると良い等、食べ物を栄養にするには、食事の内容だけではなく、食事をする環境や食べ方やも大切というお話もあり、子どもたちからは、「おかしを食べ過ぎないように気をつけたい」「良く噛んで食べるようにしたい」などと感想があり、バランス良く食べることが元気な体を作ることを学ぶことができました。





専用フォーム



「皆さんの声聞かせてください」事業へのご提案・ご意見を頂戴しましたので、その内容と、村からの回答をお知らせします。

ご提案・ご提言は、役場に備え付けの提案用紙または村ホームページから行えますので、お気軽にお意見をお寄せ下さい。

### 【回答】

この度は、ご提案ありがとうございます。

まずははじめに、宅内の防災無線（FM告知機）は停電時には、電池にて駆動できる仕様となつております。もし、右上のようにもしくは切れている状態となりますので、ご確認くださいます。（通常は、AC電源で駆動しております。）

12月20日に本村は、無火災1年を達成し、同日、消防長から贈られた表彰状を持参し、広域消防昭和出張所所長等が村長に報告しました。

村民の皆さんにおかれましては、引き続き、火の取扱いに注意し、記録更新へのご協力をお願いいたします。

12月15日～23日にかけて、地域づくり懇談会が各地区で開催されました。地域で困っている事や要望などのほか、多くの提案や改善案が寄せられました。

なお、各地区から出された内容については、広報誌でも改めてお知らせいたします。



## 無火災表彰

## 地域づくり懇談会

**01 LINEの活用**  
60代・男性 村内

停電中は防災無線が家の中で聞こえません。LINEで原因や復旧メドを配信出来ませんか？

せっかくの防災無線が停電で聞こえないなら意味がありません。外のスピーカーが遠くにあって聞こえにくい場所もあるはずです。宜しくお願ひ致します。

ます。電池を交換しても、同様の状況が続く場合には、機器の故障の可能性もございますので、ご連絡をお願いいたします。

さて、LINEでは、情報配信につきましては、現在は手動で行なっている状況です。村にお問い合わせ頂く住民の方もおりますが、村も電力会社より情報を得て対応している状況ですので、その点ご理解をお願いいたします。

なお、今年に入り停電が頻発している情報を踏まえ、情報を検知してから自動配信するシステムを試験中です。それで、これまでよりも迅速な情報の配信が行えるかと思いまますので、運用開始後改めてご案内させていただきます。また、東北電力が提供する「停電情報アプリ（無料）」もございます。そこで、そちらの導入についてもご検討をお願いいたします。

## 行政報告

令和6年 12月議会

村では、定期議会毎に、各分野の事務事業などの進捗状況などを行政報告として議会へ報告しています。今回は12月議会における報告のあらましを知らせします。

●物価高騰などに伴う住民生活への影響緩和

低所得者支援及び定額減税を補足する調整給付の物価高騰対応重点支援給付金は、10月から対象世帯や対象者に支給を開始し、11月初旬に支給が完了しました。

## ●広域連携の取組

日本で最も美しい村連合の活動として、10月5日に国道400号の清掃活動を行いました。小さなお子さんも含め多くの村民のみなさんに参加していただき、少しずつではありますが、日本で最も美しい村連合の活動が着実に浸透

●先端的過疎

心地よく暮らせると

昭和村集落支援員は、支援内容等に関する打合せを定期的に行いながら、目的の達成に向けた活動に精力的に取り組んでいます。

## ●持続可能な協創のむら

透してきていると実感しています。また、本年は、本村が日本で最も美しい村連合に加盟してから5年となるため、10月に資格審査が実施され、審査の結果、日本で最も美しい村連合の資格を引き続き有することが決まりました。

会津若松万面の交通

●心地よく暮らせるむら  
を定期的に行いながら、  
的の達成に向けた活動  
精力的に取り組んでい  
す。

## ●選択と集中の行政運営

を得て、高性能ドローンによる大地震や土砂災害、山岳遭難発生時における行方不明者の捜索及び人命救助を想定した実証事業を実施しました。

● 消防・防災

全村民を対象とした2回目のスマート教室を、先月下旬から各集落の区長事務所を会場に開催しました。詳しく知りたい、相談したい方などを対象として個別相談会も併せて開催し、より親しみを持つていただきける工夫を重ねています。

農業

また、昭和村子どもの教育検討委員会から報告を受けました。小中一貫校や保育所を含む教育関連施設の整備計画については、財政面等の観点から庁舎建設と総合的に検討する必要があるものと考えています。

役場庁舎建設と教育関連施設の総合的な整備計画について、村としての最終的な方向性を早急に決定し、本年度内に議会議員の皆様などにご説明したいと考えています。

稻作については、全  
国の本年産の主食用米  
面積は、前年実績から  
1万7千ヘクタール増加

また、昭和村子どもの教育検討委員会から報告を受けました、小中一貫校や保育所を含む教育関連施設の整備計画については、財政面等の観点から庁舎建設と総合的に検討する必要があるものと考えています。

役場庁舎建設と教育関連施設の総合的な整備計画について、村としての最終的な方向性を早急に決定し、本年度内に議会議員の皆様などにご説明したいと考えています。

よつば昭和地区の状況は、買入数量が約四百三十トン、一等米比率については、99.88%で、JA会津よつばの概算金は「JA米のコシヒカリ」が2万2百円、前年比で8千1百円の増、「JA米のひとめぼれ」が1万9千5百円、前年比で8千6百円の増、「JA米の里山のつぶ」が1万8千5百円、前年比で8千4百円の増となり、概算の買入金額は約1億3千9百万円、前年比で約4千6百万円の増額となっています。

稻作については、全国の本年産の主食用米面積は、前年実績から1万7千ヘクタール増加し、125万9千ヘクタルとなりました。予想収穫量は679万2千トンとなり、前年に比べ、約18万トン増加との見通しが示されています。

東北農政局が発表した、令和6年産米の10月25日現在の作況指数は、会津地方は百二の「やや良」となっています。J A会津

主食用米の適正生産量を確保するためには必要な転換作物は、本村のような中山間地域や積雪地帯においては、ソバは欠かせない作物の一つであると考えていますので、村としま

ついで、昨年同様高温による影響が懸念されましたが、播種後の天候にも恵まれ、生育は良く、高温時期が生育に与える時期が回避されたこともあり、昨年より影響が少なかつたと聞いております。

しても、今後においてもソバの作付を継続していくだけるよう、国や県から的情報収集に努めながら、新たな転換作物についても検討していきます。

**主要品目の宿根力スミソウは、9月以降、雨が多く、湿度が高い状況が続き、ハウス内や作業場の除湿と、温度管理が問題になつてきましたが、11月27日までの出荷本数は、約582万本と前年同期比で約10.9%となり、販売額は、7億1千2百万、前年同期対比で約11.0%となりました。これは、生産者のご努力はもとより、県会津坂下農業普及所金山普及所の指導員による献身的な技術指導、JA担当職員による市場の動向等を的確に把握した売り先の確保、さらに、雪室を使つたパーエクトコールドチェーンによる品質維持の効果が伴い、信頼のあるブランド化の定着が、生み出した結果であると考えています。**

また、第63回農林水産祭

でも、今後においてもソバの作付を継続していくだけるよう、国や県から的情報収集に努めながら、新たな転換作物についても検討していきます。

**主要品目の宿根力スミソウは、9月以降、雨が多く、湿度が高い状況が続き、ハウス内や作業場の除湿と、温度管理が問題になつてきましたが、11月27日までの出荷本数は、約582万本と前年同期比で約10.9%となり、販売額は、7億1千2百万、前年同期対比で約11.0%となりました。これは、生産者のご努力はもとより、県会**

の園芸部門において、最高賞である天皇杯の受賞が決まり、11月23日には、JA会津よつば昭和かすみ草部会より報告を受けました。

### ●森林整備事業

村内におけるナラ枯れの被害状況について、県会津農林事務所に協力をいただき、現地踏査を行つたところ、昨年より標高の高い地域に被害が拡大しており、村内全域での被害が確認されています。主に、私有林に被害が広がっております。管理に対する周知と注意喚起を行つています。

**●商工関係**

「かすみ草の村地域振興券発行事業」は、7月1日から使用が開始されおり、11月15日現在の利用状況が約71.89%、利用金額は約811万円となっています。地域振興券は、使用可能な期間を定めていることから、期限内に使用していただくよう、コバシリやホームページ等で村民の皆さんに周知を図っています。

また、被害木の伐採については、4月の松山白沢地内に続き、10月には村道柳沢線の伐採を行いました。今後も、各集落の皆さんに話を伺いながら、危険木の把握と事業の推進を図ります。

施し、昨年度の調査箇所と合わせて、年度内の完了に向か工事を進めていきました。昭和の森キャンプ場の基本調査箇所についても、年内に終える予定であり、森林としての適切な環境整備に活かしていきます。

### ●商工関係

埼玉県草加市との姉妹都市交流については、10月26・27日の両日に、秋の昭和村体験ツアーが行われ、そば打ち体験や、矢ノ原湿地散策のほか、博士峰さわやかウォークにも参加していただき、参加された方々からは、ツアー内容などにも高い評価をいただきました。

また、11月19日には、国道401号改良整備促進期成同盟会として、県知事などへの要望活動を行いました。

国道400号舟鼻峠工区については、昭和村側の狭隘区間の改良工事等が着実に進められており、年間を通じた安全な通行の確保が期待されるところです。

また、11月7日には私は会長を務めます、国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会において、県知事などへの要望活動を行いました。

**●工事関係（村道の整備）**

村道佐倉線の舗装補修

秋の観光シーズンにまた、本年度の福島県森林環境交付金を活用した森林整備について、小野川地区、水芭蕉としらかばの植林において基本調査を実

見頃を迎えた連休の来場者は村内外から2千百人を越える方々に来場いたしました。また、昭和村観光協会主催の日帰りバスツアーも同日に開催され、紅葉シーズンの自然や新そばを堪能していただ

除雪關係

冬期間の村道の除雪について、11月5日に除雪会議を開催し、今年度の除雪計画を決定しました。また、今年度、除雪ドーザ11トン級を更新しました。

●からむし事業

新年度のからむし体験生32期生は、6名の応募がありました。今年度のからむし織体験生については、糸づくりの作業を順調にこなしており、12月中旬からは織りの作業、作品製作に入る予定となっています。また、10月には、福島県立博物館において、からむし織体験生修了者作品展を開催し、体験生修了者の作品展示と糸つくりの実演を行ったほか、会津若松市の鶴ヶ城体育館で開催された会津ブランドものづくりフェア・イン・まちなかにおいて、からむしのしおりづくり体験や糸づくりの実演、からむし織製品の販売等を行いました。

## ● 感染症対策

このほか、小学校において、児童期から健康について自分で知り、考える機会となるよう、児童と保護者を対象とした「元気な体を作る食べ方」をテーマに、すこやか教室を開催しました。

また、子どもの健康課題などについて保健福祉課、保育所、小中学校、教育委員会の関係機関で連動した取組を実施するため、保健連絡会を開催したほか、11月13日には保育所において、思春期から生命の尊厳についてを学び、母性、父性を育むことをを目指し、中学三年生が赤ちゃんと触れ合う体験を実施しました。

●保健事業

10月に、村内各集落で健康相談と併せて健診結果説明会を開催したほか、12月から「元気で長生き教室」を開催し、日々の健康管理や体力測定と認知症の予防に理解を深めていきました。

●県立宮下病院  
老朽化などを受けて建替えが計画されていますが、令和9年度に有床診療所として開所を目指す「宮下病院建替え基本設計」が決定・公表されました。引き続き、村内の訪問診療・訪問看護等、在宅医療の拠点機能を担う県立宮下病院、奥会津在宅医療センターと協働して、地域文化や住民同士の共助の精神、村民の想いなどを大切

●県立宮下病院

歳以上65歳以下の基礎疾患を有する方を対象とした、新型コロナワクチン接種については、国保診療所において10月1日から第1期接種を開始しました。第二期接種は1月6日から実施できるよう準備を進めています。

また、季節性インフルエンザについては、11月11日から年末にかけて65歳以上の高齢者と60歳以上64歳以下の基礎疾患有する方を対象に国保診療所で個別接種を進めています。

●子育て支援

●子育て支援  
筑していきます。

●保育所事業

●保育所事業  
保護者間での交流、親子の絆を深めつつ、普段見ることのできない保育所で子どもの姿を見て、いたため、9月には会津坂下町、会津中央乳業への親子遠足、10月には保育参観を実施しました。

●高齢者福祉

9月14日には、長年、地域の発展に尽力してこられた方々の健康と長寿をお祝いする「昭和村敬老会」を開催しました。「わらべの会」「によるコーラス、講談師・神田織音さんによる古典落語の名作『柳田格

「格之進」などのステージアトラクションで会場を盛り上げていただきました。今年度は、「金婚式」を迎えた夫婦が2組いらっしゃったため、福島県老人クラブ連合会から、お祝い状と記念品が贈呈されました。また、今年度満百歳を迎えた方3名に賀寿のお祝品と記念品をお贈りしました。

また、村全体としての「つながり」や「支えあい」が希薄化しているため、生活支援コーディネーターが各集落を巡回して地域サロン「村のカフェメケメケ」を開催しています。今年度は「互助・共助」が必要とされる「防災」をテーマとした話合いの場を設けています。

村民の自発・自主的な活動を支援する「アクティブラシニア事業」については、「下中津川いってみ会」「大芦げんきクラブ」の2団体に本年度は特に活動に活動していただきました。来年度は、参加希望の団体が増える見込みですでの、住民の生きがいや

格之進』などのステージア  
トラクションで会場を盛  
り上げていただきました。  
今年度は、「金婚式」を迎  
えられた一夫婦が2組い  
らっしゃったため、福島県  
老人クラブ連合会から、お  
祝い状と記念品が贈呈さ  
れました。また、今年度満  
百歳を迎えた方3名に賀寿  
のお祝品と記念品をお贈り  
しました。

●ごみ対策事業

10月19日に、小型家電、食器類及び衣類を対象に資源収集を行い、約740キログラムを回収したほか、更なるゴミの減量化を図るため、9月3日より常時、すみれ荘内での衣類回収を開始しています。

●教育行政

サロン「村の力フェメケメケ」を開催しています。今年度は「互助・共助」が必要とされる「防災」をテーマとした話し合いの場を設けています。

「昭和村いじめ問題対策連絡協議会」を9月26日に開催し、いじめの防止に関する機関及び団体との連絡調整と対策について、協議を行いました。

また、村長と教育委員会による「総合教育会議」を10月に開催し、教育を行うための諸条件の整備と、地域の実情に応じた教育、文化の振興を図るための協議しました。

小中を一貫した教育の推進については、11月に

「小中学校文化祭」を合同で開催したほか、11月11日から15日まで、2回目の「自由参観ウォーク」を開催し、日頃の学習成果と、小中一貫した教育の成果を多くの村民に参観いたしました。

また、義務教育9年間を見据えた児童、生徒の学力向上に関する2回目の「小中学校合同授業研究会」を開催したほか、「昭和村學習スタンダード」の協議や、新年度の小中一貫教育推進事業の調整を行つています。

昭和小学校では、これまでの修学旅行から5年生と6年生が一緒に活動する「学習旅行」に見直しを行い、今年度は10月3日から4日にかけて仙台市内を中心に、本村では経験できない様々な体験を行いました。

また、学校間交流により、教育活動の広がりや幅広い人間関係構築につながる機会とするため、金山町と三島町の小学校と合併で「交流学習会」や「陸上記録会」を実施しました。

昭和小学校は、今年度の福島県交通安全優良学校に選ばれ、このほど表彰が行われました。長年にわたりる学校、家庭、地域の協力による児童の安全な登下校や、家庭での交通安全への高い意識などが総合的に認められたものです。

昭和中学校では、郷土の理解を深める教育活動として「花育」と「苧麻育」に取り組んでおり、宿根力スミソウの収穫や染色及びフЛАワーアレンジメントの体験と、からむしの地機織体験を行っています。また、9月5日には、下郷町で「全会津中体連駅伝大会」が開催され、昭和中学校女子は今年度から創設されたオープンの部に出席し、2位の好成績を収めました。

9月10日には「N H K 全国学校音楽コンクール」の福島県大会に、金山中学校と合同で出場し、銀賞を受賞いたしました。小規模校同士ではあります、交流を深め練習を積み重ねることによって、県大会の大舞台に立つことができ、素

晴らしい経験となりました。社会教育については、10月18日には福島県立図書館の移動図書館来館に合わせて、子どもの読書教育の一環として、保育所児童と小学校低学年児童を対象に「おはなし会」を開催いたしました。また、11月を「文化芸術月間」として位置づけ、昭和村公民館を会場に、週末毎に様々な事業を開催し、多くの来場者で賑わいを見せたところであります。

社会体育については、村民の親睦と体力増進を図ることを目的に、「協会長杯家庭バレーボール大会」には、若者を中心多くの村民が出席し、白熱したプレーが繰り広げられました。また、11月には「第36回ふくしま駅伝」が開催され、本村からは希望ふくしまチームの一員として、昭和小学校の岩谷教諭が出場しました。

文化財については、湿原の保存管理計画の見直しは、これまでに検討委員会を5回開催し、新年度まで

には素案を作成する計画です。このほか、昭和小学校外壁補修工事は間もなく完成する予定となつておらず、順調に進捗しております。昭和村教員宿舎新築工事も順調に進捗しており、引き続き工期内完成を目指していきます。

## —ご寄附いただいた皆様ありがとうございます—

令和6年11月1日～令和6年11月30日まで

### ◎ふるさと納税

【寄附件数】 63件 【寄附金額】 112万円

ご寄附いただいた皆様 東京都 大門 聖 様 2万5千円  
東京都 遠藤正樹 様 1万円  
東京都 小林 慎 様 2万円  
福島県 伊藤貴之 様 3万5千円  
熊本県 菅家照典 様 2万5千円  
福岡県 島田佑輔 様 3万5千円  
愛知県 小泉寿子 様 2万5千円  
東京都 山本修平 様 1万5千円  
福岡県 片山洋二 様 1万円  
宮城県 加藤鉄平 様 1万5千円  
京都府 柴 加菜 様 1万円  
東京都 岡崎綾乃 様 1万5千円



※寄附申込書において氏名公表可とされた方のみ掲載しております。

ご寄附は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

## 訓練生募集

会津訓練センターでは、再就職を目指す求職者の方々を対象に、ものづくり分野の職業訓練（離職者訓練）を実施しています。

①募集定員 機械 CAD・NC コース 9名

電気設備技術コース 12名

②訓練期間 令和7年3月4日から令和7年8月28日まで（6ヶ月間）

③対象者 ハローワークに求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方

④受講料 無料

⑤募集期間 令和7年1月14日（火）～2月12日（水）

⑥選考日 令和7年2月14日（金）

⑦申し込み 最寄りのハローワーク窓口へご相談ください。

【お問い合わせ】ポリテクセンター会津 訓練課 ☎ 0242-26-0520

## 県立宮下病院からのお知らせ

県立宮下病院 院長 横山秀二

新年あけましておめでとうございます。令和7年を迎えるにあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。当院は、昨年より在宅医療部門を会津医療センターから引き継ぎ、皆様がご自宅でも安心して療養できるようサポート体制の充実を図りました。また、病院建替に向け、より快適で安全な医療環境を提供できる施設となるよう引き続き計画を進めていく所存です。今年も職員一同、地域に根ざした医療提供を心がけてまいりますので、どうぞ変わらぬご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

「胃癌内視鏡検診」

県立宮下病院 外科（内視鏡担当） 佐竹 賢仰

日本人には胃癌が多いのですが、それはピロリ菌感染と密接に関係しています。ピロリ菌が感染すると胃の粘膜が萎縮し、これが胃癌発生の母地となります。内視鏡検診では胃癌の有無だけでなく胃の粘膜に萎縮があるか、ピロリ菌の感染があるか、感染は現在のものか過去のものかを調べます。ピロリ菌に感染している場合には、除菌することにより胃癌になる危険性を減らすことができます。胃癌の早期発見・予防のため内視鏡検査を受けましょう。

【お問い合わせ】宮下病院 ☎ 0241-52-2321

## 自動車の登録（変更・移転・まっ消）はお済みですか

自動車税は、毎年4月1日現在で、運輸支局に登録されている所有者（割賦販売購入の場合は使用者）に課税されます。例年、「持っていない車の納税通知書が届いた」、「納税通知書が届かない」等の問い合わせが数多く寄せられています。納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は3月末までに運輸支局で登録手続きを済ませましょう。

- ①住所が変わった ②自動車を人に譲った ③廃車した など。

【お問い合わせ】福島県会津地方振興局県税部 課税第二課 ☎ 0242-29-5261

## 乗るなら確認「自賠責」お忘れなく！

自賠責保険・共済は、万一の交通事故の際の基本的な対人賠償を目的とし、自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車を含む全ての自動車に加入が義務付けられており、自賠責保険・共済なしで運行することは法令違反ですのでご注意ください！

特に、車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は、有効期限切れ、かけ忘れに注意してください。

【お問い合わせ】国土交通省東北運輸局福島運輸支局 ☎ 024-546-0345（音声ダイヤル）

## 不動産を相続したら かならず相続登記！

相続登記はお済みですか？令和6年4月1日から相続登記が義務化されました。詳しくは、お近くの総務局にお問い合わせいただけます。法務局ホームページの相続登記義務化特設ページでご確認できます。以下は、よく寄せられる質問です。

Q 1. 土地や建物の所有者（登記名義人）が亡くなった場合の登記手続きを教えて下さい。

A 1. 登記申請を行っていただき、所有者（登記名義人）を変更していただく必要があります。相続財産である不動産を誰が相続するのかなどについては、遺言がない場合には、相続人の皆さまが話し合って決める（遺産分割協議）が一般的です。遺産分割の方法や内容をどうすべきか、どのように話し合いを進めるべきかといったことは、弁護士・司法書士等の専門家にご相談願います。遺産分割による相続登記の申請をするには、遺産分割協議書を作成していただくこととなり、登記申請書を作成し、除籍謄本、戸籍謄本、遺産分割協議書などを添付して提出していただく必要があります。登記申請書の作成方法や必要書類は、最寄りの法務局で登記手続案内（事前予約制）をご利用いただけます。登記手続に関する法律の専門家である司法書士にご相談ください。また、法務局ホームページに登記申請書の様式や『申請書類の作成における共通の注意事項等』が掲載されていますので、ご活用ください。

Q 2. 先日父が亡くなりました。実家の土地建物は父の名義です。不動産の相続登記はいつまでにすればよいですか？また、相続登記をしないでおくと、どのようなデメリットがありますか？

A 2. 長期間相続登記手続きをしないでいるうちに相続人が更に亡くなってしまい相続人が増えた結果、遺産分割協議が困難になったりするケースがあります。なお、令和6年4月1日からは相続登記が義務化されており、正当な理由なく土地・建物の相続を知ってから3年以内に相続登記をしないと過料が科せられる場合もありますのでご注意ください。（令和6年4月1日より前に発生した相続についても同日以降3年以内に相続登記をする必要があります。）不動産の所有者が亡くなったら、早めに相続人間で遺産分割協議を行い、相続登記をしましょう。

Q 3. 亡くなった親が建てた建物が登記されていない場合はどのような手続きをすればよいですか？

A 3. まずは、福島県土地家屋調査士会のホームページにて、お近くの土地家屋調査士を探すなどしてから、その土地家屋調査士にご相談ください。登記申請書のほか、建物図面・各階平面図や、相続を証明する書類、遺言書や遺産分割協議書等、親が建物の所有者であったことの証明が必要になります。もっとも、図面の作成には、その前提として精度の高い測量が必要となる場合が多く、そのため、測量技術や建物に関する専門的な知識、測量機器や製図機器等の一定の機材が必要となることが通常です。そのため、土地家屋調査士の関与をお勧めすることが多くなりますので、あらかじめご了承願います。



【お問い合わせ】福島地方法務局 不動産登記部門 ☎ 024-534-2045

相続登記の申請義務化

特設ページ

広報しょうわ | 2025.1

16

【連載】昭和村の歴史と文化

(第24回)

菅家 博昭 (大岐)

昭和10年の政府の苧麻奨励  
富山県の近代化における  
カラムシ纖維の扱いについて  
これまで数回紹介してき  
た。このたび、本村役場から  
むし振興係の根本氏より同  
時期の日本政府の苧麻（か  
らむし）奨励策の資料を数  
点紹介され読んだ。

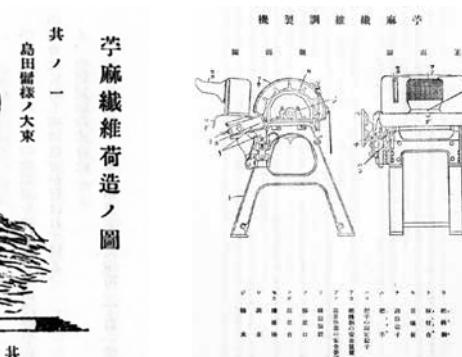
富国のために機械化を前  
提としてそれに向く纖維の  
開発や奨励をしていること  
が理解できる。軍國化を勧  
めるなかでの必要不可欠な  
纖維素材が苧麻であった。

我が国、特に昭和村（江戸  
時代の野尻組）の手による  
纖維とりだし（製纖）という  
ことは全くことなるもので  
ある。しかし大きな政策が  
実施されていたことは知つ  
ておいてよい。

緒言に、「各種軍用被服、天  
幕、帆布、飛行機翼布、雜囊  
地、紐帶、素綱等各種麻製軍  
需品の需要は極めて多額に  
上り之が原料は主として亞  
麻または大麻を原料とした  
のであるが、亞麻は近年栽  
培地減少し加之価格の変動  
著しく大麻亦価格布廉にし  
て共に適当なる軍需材料と  
云ふ事が出来ない」

「近年軍部に於て研究の結  
果之等はある程度苧麻を  
栽培の再興を企図し、農商  
務省は大正元年以降三ヶ年  
間 宮崎県農会に対し補助  
金を付して、苧麻の栽培並  
びに纖維製造に関する試験  
研究を行はしめ、さらに大  
正6年度からは栃木県農事  
試験場に対し多額の補助金  
を交付して徹底的に之が研  
究を行はしめた結果、大正  
12年に至り優良品種の選択  
と之が機械剥皮法とに成功  
し從来我が国は勿論諸外国  
でも苦心を重ねて成就しな

5頁「明治維新後廢藩置県  
となり、服制の変遷と安価  
な綿布の生産増加とにより  
逐年衰頼に傾き、明治40年  
歩、大正3年には僅かに  
四百四十五町歩に減少して  
きたのであるが、一方我が  
国近代工業たる製麻業は  
近年長足の進歩發展をなし、  
之が原料たる苧麻の消費高  
は逐年増加し、昭和8年度  
に於ける苧麻消費高は實に  
四千万斤を突破しその金額  
は實に一千万円を超へ、対  
外貿易上看過する事のでき  
ない重要品となつてゐるので  
ある」



其ノ一  
島田屋様ノ大東

苧麻纖維荷造ノ圖



※図は本書より引用

『昭和10年3月 農事改  
良資料第101 芋麻』(農  
林省農務局)

5頁「明治維新後廢藩置県  
となり、服制の変遷と安価  
な綿布の生産増加とにより  
逐年衰頼に傾き、明治40年  
歩、大正3年には僅かに  
四百四十五町歩に減少して  
きたのであるが、一方我が  
国近代工業たる製麻業は  
近年長足の進歩發展をなし、  
之が原料たる苧麻の消費高  
は逐年増加し、昭和8年度  
に於ける苧麻消費高は實に  
四千万斤を突破しその金額  
は實に一千万円を超へ、対  
外貿易上看過する事のでき  
ない重要品となつてゐるので  
ある」

「政府は国内に於ける苧麻  
栽培の再興を企図し、農商  
務省は大正元年以降三ヶ年  
間 宮崎県農会に対し補助  
金を付して、苧麻の栽培並  
びに纖維製造に関する試験  
研究を行はしめ、さらに大  
正6年度からは栃木県農事  
試験場に対し多額の補助金  
を交付して徹底的に之が研  
究を行はしめた結果、大正  
12年に至り優良品種の選択  
と之が機械剥皮法とに成功  
し從来我が国は勿論諸外国  
でも苦心を重ねて成就しな

には全国を通じ千八百予町  
歩、大正3年には僅かに  
四百四十五町歩に減少して  
きたのであるが、一方我が  
国近代工業たる製麻業は  
近年長足の進歩發展をなし、  
之が原料たる苧麻の消費高  
は逐年増加し、昭和8年度  
に於ける苧麻消費高は實に  
四千万斤を突破しその金額  
は實に一千万円を超へ、対  
外貿易上看過する事のでき  
ない重要品となつてゐるので  
ある」

かつた苧麻栽培業が極めて  
有利に行はる事が示され  
たので、農林省は種苗の配  
布及び剥皮機購入補助等を  
行ひ、極力本事業の助成に  
努むる事となり、昭和4年  
度から之に要する経費予算  
が計上され、さらに昭和9  
年度より経費を増額し適地  
にその栽培を奨励し苧麻纖  
維の国内自給を図り以て輸  
入防遏の完成を期すること  
となつたのである」(6頁)

の台湾台北市外大安の同社  
工場

# アレクサンドラ 先生の小噺 #13

Alexandra Short Story

skiing  
(スキー)



外国语指導助手 アレクサンドラ先生

(原文)

Dear Showa Village residents, I hope you're having a good winter so far! I really enjoy this time of the year. One of my favorite things to do is to be warm inside my house while drinking a cup of hot cocoa with marshmallows while it is snowing outside. This time of the year one of Canadians favorite thing to do is to go skiing! I want to tell you about my first time skiing as it is a very funny story. I was born in Colombia in a city with warm weather and no snow. I moved to Canada when I was very young but even then, as my parents didn't ski, I didn't went skiing until I was 20 years old. My first time skiing I was with a friend, and it was his first time too. So, we didn't have any ski lessons and decided to just try on our own by watching and imitating others. So, we went to the kid's slopes and after falling endless times and watching some YouTube videos we felt more confident and decided to give it a try on the real slopes. Once at the top my friend looked downwards and decide not to do it. I, on the other hand wanted to give it a try and started skiing. I felt very confident doing the pizza pose. However, I didn't know the slope I've chosen was an expert's slope, so it was very steep and at some point I was going so fast that I completely lost control of the skis. I ran into the barrier on the side and went into the woods then fell next to a pine tree. The branches of the tree slowed me down and there were branches coming out of my head which I found comical. My skis where completely gone and I had snow inside my clothes. I started laughing at myself and got back to the slope and finished it! Then had a great cup of hot cocoa at a shack near the mountain! So, it was a happy ending. Until next time!



(日本語訳)

昭和村の住民の皆さん、良い冬をお過ごしでしょうか！私はこの時期をとても楽しんでいます。私の好きなことの1つは、外で雪が降っている時に、家の中でマシュマロ入りのホットココアを飲みながら暖まることです。

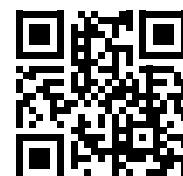
この時期、カナダ人が大好きなことの1つはスキーに行くことです！とても面白い話なので、私が初めてスキーをした時のことを話したいと思います。

私はコロンビアの温暖な気候で雪のない街で生まれました。幼い頃にカナダに引っ越しましたが、両親がスキーをしなかったため、20歳になるまでスキーはしませんでした。初めてスキーをしたのは同じくスキーをするのが初めての友達と一緒にでした。そこで、スキーのレッスンも受けず、自分たちで見よう見まねでやってみることにしました。私たちは子供用のゲレンデに行き何度も転びましたが、何本かYouTubeのビデオを見て、自信がついたので、本物のゲレンデで滑ってみることにしました。

友人は頂上から下を見下ろし、滑らぬことを決めましたが、私はやってみたくて滑り始めました。ピザのポーズ（ボーゲン）にはとても自信がありました。私が選んだゲレンデが上級者向けのゲレンデだと知らず、かなり急だったのである時点でスピードを出しすぎてスキーのコントロールを完全に失い、松の木の横で転倒しました。木の枝でスピードが落ち、頭から枝が出ているのが可笑しかったです。スキー板は完全になくなり、服の中にも雪が積もっていました。私は自分自身に笑い始め、ゲレンデに戻って滑り終えました！それから、山の近くの小屋でホットココアを飲んだ！というわけでハッピーエンドでした。

それではまた次回まで！

アレクサンドラ先生が記事の内容を英語で話しています。下記のQRコードからご覧ください。



# Wi-Fi のむら

## #19 ミリ波センサーを利用した転倒検知を検証

村では、令和4年度から生活圏の屋外でのインターネット通信を無料で利用できる「公共インフラ Wi-Fi」の整備を進めてきました。その普及にあたって、Wi-Fiについて基礎から利活用も含めて隔月での連載を行っています。

【お問い合わせ】総務課 企画創生係 0241-42-7717

前回掲載記事をお読みになられた読者の方から、村で暮らす親御さんのことを見守りたいとご相談を頂きました。

常時の見守りカメラは親御さんも抵抗があるかもとのお話でしたので、転倒検知を行えるミリ波センサーや温湿度センサー、ドア開閉センサーなどを組み合わせた形で異常を検知した場合には、カメラで映像を確認するような形を提案させて頂き、12月中旬より検証を開始しました。(※公共インフラ Wi-Fi の活用事例を創出するための、実証事業として実施しています)

今回の見守りでは、センサー類は専門のサービス（業務用）ではなく、市販されている民生品を用いて行っています。過去に同様の実証を実施した経過はありますが、そこから数年で技術も進歩し、民生品レベルでも転倒検知が実現できるようになりました。

遠方に暮らす家族は、スマートフォンに専用のアプリをインストールすることで、昭和村お住いの親御さんの暮らしぶりがわかるようになります。今回は、多めにセンサーを

設置して様々な検知の可能性を検討することとしていますが、一定の成果があがれば、必要最低限のセンサーで見守りを実現することが可能となるかもしれません。

年度末を一旦の区切りとして検証を行いますので、その成果は改めてご紹介させていただきます。

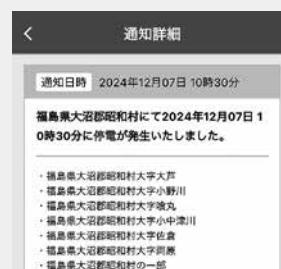


専用アプリの画面（センサーの状況をスマートフォンから確認できる）

### (番外編) 停電のお話

2024年は、いつもに比べて停電が多い1年となりました。公共インフラ Wi-Fi は停電時も UPS（無停電電源装置）を搭載しているので一定時間（搭載している設備の状況により変動）は稼働が可能です。

停電時に、役場へご連絡を頂くことがございますが、役場も東北電力から情報を得て皆様にお伝えしている状況ですので、その点ご理解ください。東北電力では、停電情報や復旧情報などを通知するアプリを配信していますので、ぜひ、そちらの活用もご検討ください。



◀ 東北電力ネットワーク停電情報アプリの通知画面



◀ アプリのダウンロードは QR コードまたは、「東北電力 停電情報通知アプリ」で検索

## 警察署からのお知らせ

### それ、本当に警察官ですか？

11月末現在、福島県内において、26件 2億8,590万円のオレオレ詐欺被害が発生しています。

特に最近は、警察官や検察庁を名乗り「あなたが詐欺の犯人として浮上している」などと言って電話からSNS（LINE等）に誘導し、写真やビデオ通話で警察手帳や様々な書類を見せることで信用させ、最終的には「身の潔白を証明するため」や「あなたの口座のお金を守るため」などの理由で金銭を要求され被害に遭うケースが増えています。

警察官や検察庁がSNSやビデオ通話で連絡を取ることは絶対にありません。

もし、福島県警や他府県の警察を名乗る者から金銭に関する電話があった場合には相手の所属警察署や担当する係、氏名を確認し、警察署に連絡してください。



### 昭和村内街頭犯罪等発生状況 (令和6年11月末現在)

区分	管内	昭和村
街頭犯罪	強 盗	
	空き巣	
	忍び込み	1
	事務所荒らし	
	出店荒らし	6
	自動車盗	
	オートバイ盗	
	自転車盗	10
	自販機ねらい	
	車上ねらい	1
	ひったくり	
	部品ねらい	3
	強制わいせつ	
街頭犯罪合計	21	0
その他刑法犯等	67	0
全刑法犯	88	0

外出する際はしっかり戸締まりをしましょう。また、不審者や不審車両を見かけたらすぐに通報してください。

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和6年1月1日からの累計数になっています。



## 消防署からのお知らせ

### 育てよう歴史を守る防火の心 毎年1月26日は文化財防火デー

文化財防火デーは、昭和24年1月26日奈良県にある法隆寺金堂が火災になり、国宝十二面壁画の大半を焼損したことがきっかけで、昭和30年1月26日に定められました。

日本の文化財は木や紙など可燃物で作られているものが多く、一度火災になると大きな被害を受ける可能性が高くなります。1月26日を中心に文化財を火災や地震などから守るための訓練を実施し、将来に継承すべき貴重な財産である文化財の火災予防に努めましょう。



火事・救急・救助は 119

会津坂下消防署昭和出張所  
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

## ＋1・2月の休日当番医＋

- 1月12日(日) あかぎ内科消化器科医院  
☎ 0242-83-0303 (会津坂下町)  
13日(月・祝) 寿松堂渡辺医院  
☎ 0242-83-3125 (会津坂下町)  
19日(日) 吉川医院  
☎ 0242-56-3358 (会津美里町)  
26日(日) 県立宮下病院  
☎ 0241-52-2321 (三島町)  
2月2日(日) 平野医院  
☎ 0242-83-2243 (会津坂下町)

## ◆◆◆戸籍の窓口◆◆◆

令和6年11月1日～11月30日受付

### ● お誕生おめでとうございます

今月の届け出はありません

### ● ご結婚おめでとうございます

今月の届け出はありません

### ● おくやみ申し上げます

渡辺 稔雄さん 70歳 下中津川  
金子 孝治さん 93歳 大芦

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際に申し出下さい。

## ◆◆◆昭和村の人口◆◆◆

令和6年11月1日現在※住民基本台帳人口

人 口	1,088人	( - 5 )	出 生	0人
男	532人	( - 4 )	死 亡	5人
女	556人	( - 1 )	転 入	2人
世帯数	611戸	( - 1 )	転 出	2人

## 交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。



日目

(12/25時点)

## ◆◆◆すみれ荘だより◆◆◆

\*つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30  
(会場の都合によりお部屋の変更または休止になる場合がありますので  
ご了承ください)

### 健康ミニ情報

<肥満・内臓脂肪型肥満予防について>

ただ単に太っている（過体重）だけではなく、内臓の周りに脂肪が蓄積される内臓脂肪型肥満になると、蓄積した内臓脂肪から分泌される物質が「血圧を上昇させる」「血管で炎症を起こしやすくする」「血栓を作りやすくする」等の悪影響を及ぼし、血管が傷つきやすく破れやすい状態になる「動脈硬化」の進行を速め、脳梗塞、心筋梗塞などの命に関わる病気を引き起こす可能性があるため、早期からの対策（予防）が重要です。

#### 【予防のポイント】

- ①自分の適性体重を知る、維持する（適切なエネルギー量（カロリー）、食事の量を知る）
- ②1日3食の規則正しい食事を基本に、欠食や間食、ドカ食いはせず、夜遅くに食べない
- ③ゆっくり良く噛んで、腹八分目にする（早食いをしない、食べ過ぎない）
- ④油（脂肪）、塩分の摂り過ぎに注意
- ⑤糖分の多い食品（お菓子やジュース）を控える
- ⑥食物繊維を意識して、野菜は毎食たっぷり（食事は野菜から食べる）
- ⑦毎日こまめに体を動かす、座っている時間を少なくする（1日の歩数を増やすことを心がける）
- ⑧今より10分多く体を動かす、適度な運動を続ける（毎日何かしら体を動かす習慣をつけ、1回30分以上の軽く汗をかく程度の運動を週2回以上実施が目標）

## ◆◆◆今月の納税◆◆◆

- |              |    |
|--------------|----|
| ◎ 村県民税       | 4期 |
| ◎ 後期高齢者医療保険料 | 6期 |
| ◎ 上下水道使用料    | 4期 |

〔納期限：令和7年1月31日〕



広報

しょうわ

2025

1

No.668

❖❖❖  
発行  
編集・企画  
日：令和7年1月8日  
行：福島県昭和村  
：昭和村役場総務課

# 地域のしあわせづくり活動紹介「冬の風物詩～打ち豆づくり～」

この冬もすみれ荘内で、よつばの会（※）による“打ち豆づくり”が始まりました。

トントンと豆を打つ音に誘われて、診療所やデイサービスに来られた方々が「今年も始まったね。」とやって来て、作業の様子を眺めていました。

その中には「私もやってみたい！」という人がいて、よつばの会のメンバーが「にわか先生」になって、コツなどを教えて共同作業をしていました。

よつばの会の打ち豆づくりは、単なる作業を越えて、人々との交流の機会になりつつあります。

※よつばの会では、さまざまな障がいをお持ちの方の日常活動を応援するため、畠仕事や製品加工、調理実習などをおこなっています。



（生活支援コーディネーター：和泉・小林）

## みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数が、600人を超えるました！たくさんのご登録ありがとうございます！

# 昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで  
「昭和村」を  
友だち追加



ID:@showavill

LINE の「友だち追加」から、ID 検索するか QR コードをスキャンしてください。

## LINEで

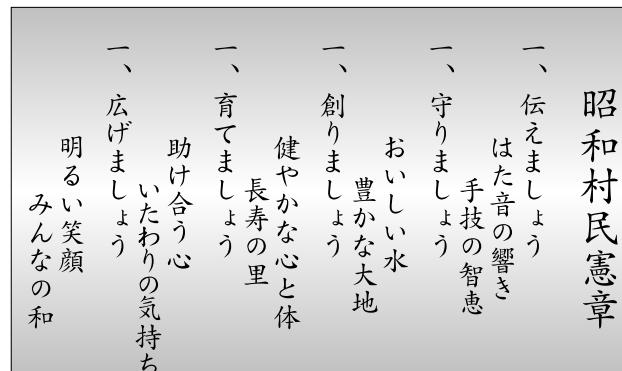
昭和村からの  
お知らせ

を受け取ろう!!

# はなたに

寒中お見舞い申し上げます。今回は、しっかりと雪のある年末年始となりました。除雪作業で忙しかった皆さま、お疲れさまです。いつもありがとうございます。雪って、柔らかかったり、固かったり、しっかりとしていると思えば、急に崩れたり、溶けたり、固まったり、と不思議なものです。土の上を歩くのに比べ、普段は使わない筋肉を動かすので、慣れるまでは筋トレのようです。くれぐれも、滑って転ぶのだけは気を付けてください。一瞬で、骨にヒビが入ります・・・

今年は新雪のモフモフと、冬毛モフモフの小動物に会いに（低山の）雪山散策に出かけようと思います。皆さんも山に入る際には、行き先を家族に伝え、装備を整え、地図アプリ等で現在地の把握をするなど、遭難時に備えて準備を整えましょう。（ど）



## 皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

**役場 総務課 企画創生係**

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp